

Title	『史学』第九一巻総目次
Sub Title	The consolidated content of volume 91
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2023
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.91, No.4 (2023. 1) ,p.121 (389)- 122 (390)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20230100-0121">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20230100-0121</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 『史学』第九一卷総目次

## 論文

朝鮮代牧区の設定と婚姻の特免

安 廷苑 (一)

古代地方寺院の性格と機能

藤本 誠 (二七五)

― 地方豪族と住僧の検討を中心として ―

― 門野幾之進の活動を事例として ―

第二次世界大戦後、間島省臨時政府の朝鮮人文官とその活動

三科 仁伸 (二六九)  
尹 国花 (二九九)

一五二四年のシャフハウゼンにおけるアラ―ハイリゲン修道院の解散について

― 宗教改革前史をめぐる一考察 ―

野々瀬浩司 (三二二)

## 研究ノート

カイロ城に住むスーフィー聖者の飾紐職人

― バイラミーヤのイブン・ティムルハーン ―

長谷部史彦 (二二二)

二〇二二年度三田史学会大会総合部会シンポジウム報告

『史学』一〇〇年の総括と展望

序言

『史学』編集委員会 (二五)

講演一 三田史学会と『史学』のこれまで―戦前期を中心として―

神崎 忠昭 (二七)

講演二 各専攻からの報告

近年の『史学』日本史学関係論文の特徴

浅見 雅一 (一一三)

東洋史学の回顧と展望 (一九九一年～二〇二二年六月)

岩間一弘・長谷部史彦 (一二一)

一九九〇年以降の西洋史学専攻と『史学』

野々瀬浩司 (一三七)

民族学考古学専攻と雑誌『史学』との関わり

杉本 智俊 (一六五)

彙報

(一二七) (三八一)

第九一卷総目次

(三八九)